

「現代人の教養講座」 発足について

中野ゼミナール代表 中野 貴之

戦後六十五年、平成も二十年が過ぎ、日本社会は新たな段階に立ちつつあるという予感を日々感じております。その中にあっても時間は刻々と過ぎ、私たちもまた否応なく年を重ねながらかけがえない自分の人生を送っていかねばなりません。

高度情報化社会にあってもすべての情報は公開されているにも関わらず、それは決して均一には広がらない。そしてそのことが現代社会（ひいては‘教育’）における最大の課題であるという問題意識から、同じ志を分かち人々の集いを企画しました。自分ひとりではなかなか勉強は出来ませんが、同じ志を持つ仲間とともに学ぶ事で勉強に対するモチベーションを持続させていければと願っております。

学習塾とは違った取り組みですので、ゼミナールに関係のない方でも参加大歓迎です。

運営形態；・原則として一ヶ月に一回の「勉強会」の実施。（学習塾の年間スケジュールの都合により、休みの月有）

・年間一～二回の食事会（旅行も出来れば良いな）

参加資格；年齢・性別は一切問わない。どの分野においても初心者である事。

参加費用；一回につき1,000円（中野ゼミナール関係者は無料）

勉強会の開催場所と日時；場所は（原則として）中野ゼミナール

日時に関しては土曜の夜（8時半ごろ）あるいは日曜の夕方（5時ごろ）

2010年4月スタートの予定ですが、春に一度プレ勉強会を行う予定です。

定員；内容の性格上、十名（前後）を上限とする。

勉強会の内容；

課題図書（原則、文庫あるいは新書）を持ち回りでまとめながら、意見交換する。まとめ役は一ヶ月につき五十ページ前後（内容の難易度によって変わる）をレジメとしてまとめてくる。一回につきまとめ役を数人選ぶ事で、数ヶ月に一冊程度のペースで様々な本を読み進める。

現在の候補（原則的には社会科学系の教養をメインに考えています）；

（歴史）「国民の歴史」（上・下）（文春文庫）

（経済）「平成経済二十年史」（幻冬舎新書）

（司法）「2円で刑務所、5億で執行猶予」（光文社新書）

（哲学）「人間の未来」（筑摩新書）

* その他、みんなで話し合いたい／自分ひとりでは読めない本、募集

「現代人の教養講座」参加（仮）申込書

氏名 _____ 連絡先 ☎ _____ メール _____

所属 _____ 開催希望曜日・時間帯 土曜の夜 ・ 日曜の夕方

参加に当たって一言

内容についての希望があればお書き下さい
